

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：10/1～10/5

### ・10/1(月)

沖縄県知事選挙、政権与党人事、オスプレイ、たばこ税引き上げなどのトピックが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。なお、沖縄県知事選挙、政権与党人事、たばこ税引き上げの報道については検証者の所感を記しました。

### ・10/2(火)

第四次安倍改造内閣、森友問題などのトピックが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。なお、第四次安倍改造内閣と森友問題の報道については検証者の所感を記しました。

### ・10/3(水)

トランプ大統領、熊本市議会「あめ」問題、南北境界線で地雷撤去などのトピックが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

### ・10/4(木)

貴ノ岩提訴に元日馬富士の代理人が反論、米大統領緊急警報送信テスト、加計理事長が2度目の会見、タジキスタンのラフモン大統領乗車の車両と随行車両が接触事故、羽田空港新ルートに米軍が難色などのトピックが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

### ・10/5(金)

ノーベル平和賞、麻生財務大臣と森友学園問題、国際観艦式と海上自衛隊、韓国李明博元大統領に実刑判決などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、麻生財務大臣と森友学園問題についての報道で問題の可能性のある場面が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月1日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙                  ゲスト：川合俊一（元バレーボール日本代表）</p>		
<p>検証テーマ：沖縄県知事選挙、政権与党人事、オスプレイ、たばこ税引き上げ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庶佑氏がノーベル医学生理学賞を受賞</li> <li>・台風 24 号の爪痕</li> <li>・沖縄県知事選挙</li> <li>・政権与党人事</li> <li>・大阪富田林警察署から逃走中の樋田容疑者が逮捕</li> <li>・貴乃花親方の引退届を日本相撲協会が退職届として受理</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ノーベル医学生理学賞に本庶佑氏</li> <li>台風 24 号の爪痕</li> <li>インドネシア地震・津波</li> <li>オスプレイ</li> <li>たばこ税引き上げ</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> <li>・世界バレー</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県知事選挙：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>沖縄県知事選挙の結果について取り上げられていた。玉城デニー氏当確の瞬間の玉城陣営の様子を取り上げられた他、当選後の玉城氏の「この県民の、その意識は翁長雄志知事が命をかけてでも守ろうとした、辺野古の新基地建設を作らせないというその意志をやはり私にもしっかりとついていただきたい、継いでほしいということではないかと思います。」というコメントや、安倍総理の「選挙の結果は政府としては真摯に受け止め、今後沖縄の進行、そして基地負担の軽減に努めてまいります。」というコメント、菅義偉官房長官の「政府としては早期に辺野古移設と普天間飛行場の返還を実現したい、この考え方は変わりありません。」というコメントが取り上げられた。</p> <p>また、今回の県知事選についてナレーションによって「今回の知事選、自民公明は菅官房長官や小泉氏が繰り返し沖縄入りするなど総力戦体制で挑みました。にもかかわらず出口調査では無党派層の 69%、女性有権者の 63%が玉城デニー氏が投票。さらに玉城氏の勝利を祝う会場には与党の一角、公明党の支持母体、創価学会の旗が。出口調査でも公明党の支持層の票、32%が玉城氏に流れていました。」と評された後に、石破茂元自民党幹事長の「総力戦で戦った以上は、これは一地方の選挙だということで済まされるものでは勿論ないし。」というコメントが取り上げられていた。</p>		

またスタジオでは雨宮キャスターの「総理の三選後、初の大型選挙でここまで大差をつけられますと政府与党としてもショックですよ。」というコメントの後に、星キャスターが「二重の意味でショックだと思います、一つは辺野古移設反対という意思表示が再び表明されて、これからの沖縄県との調整、なかなか難しいというのが一つありますよね。もう一つは自民と公明が総力を上げて戦ったにもかかわらず野党勢力が一本化すると手強い、強い、ということがわかりまして、来年参議院選挙に向けて非常に不安材料になっていますね。」とコメントしていた。

このトピックに当てられた時間は 205 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・政権与党人事：結論→特に問題なし

明日に控えた内閣および自民党の役員人事についてスタジオで取り上げられた。まず、冒頭で麻生財務大臣や河野外務大臣の留任が決まっていることが伝えられ、その後、閣僚に内定したとの情報が入った人物について星キャスターによる紹介がなされていった。

総務大臣に内定した無派閥の石田真敏氏については星キャスターが「石田さんは和歌山の市長もやられたりです。総務省の行政にずっと携わって参りましたので、そういう意味では非常に総務行政に詳しいと、通じているということで起用されてくるんだと思いますね。」と評していた。

防衛大臣に内定して岩屋毅氏については星キャスターが「はい、岩屋さんもずっと防衛問題を中心に勉強を重ねてこられまして、いままでも何度か防衛大臣の候補となつてましたので、今回は念願のポストということですね。」と評していた。

ポストは決まっていないもののフリップで片山さつき氏、柴山昌彦氏、桜田義孝氏、渡辺博道氏、根本匠氏、原田義昭氏、山本順三氏、宮腰光寛氏、吉川貴盛氏、平井卓也氏が入閣予定と紹介された後に、以下に朱記したやり取りの中で入閣予定者が取り上げられていた。

星浩「この方々にはおそらく総理秘書官からですね、明日入閣していただきますがポストについてはまだ明言できませんということではなっていますので今頃礼服などを用意されているかもしれませんが、片山さんは元大蔵省の主計官もされてまして政策に通じているということでまあいずれかのポストに就くということなんですよ。」

駒田健吾「そしてこの柴山さんも総理の近くでよく拝見することが多い方ですが。」

星浩「総裁補佐という形で自民党の中でその総裁業務を補佐してきたと、まあ、それで弁護士出身で法律にも詳しいというんですね。」

駒田健吾「そして各派閥から入閣予定ということで、例えば竹下派からは他にもですね渡辺博道さん、それから二階派では上に行きますが桜田義孝さんですか、吉川貴盛さんという名前が上がっています。」

星浩「それから例えばその宮越さんはずっと農業問題をやられてきたので農水大臣が適任という声は出ていますね。」

駒田健吾「岸田派。」

駒田健吾「それからですね、参議院から他にもですね山本順三さんという名前が上がってましてね。」

星浩「議運委員長をやられてましたので、まあ参議院でその入閣候補ということですね。」

こうした内閣の顔ぶれについて星キャスターは「まあ、政権の土台、安倍総理は最近良く土台と言っています

が、土台は引き継いで、それから総裁選挙で安倍さんを支援した人たちを起用しようという意味では論功という色彩はありますね。」と評していた。

党役員人事については以下に朱記したやり取りのなかで取り上げられていた。

駒田健吾「そして党役員人事を次は見ていきましょうか。こちらも再任という形で二階幹事長ですとか岸田政調会長が出ていますけれども、まずですね注目、またこれ女性なんですけれども、筆頭副幹事長に稲田朋美さん、ここ小泉進次郎さんがいましたね。」

星浩「そうですね、小泉さんを外して稲田さんを起用する。稲田さんはあの弁護士出身で防衛大臣も途中で退任されましたけど、弁護士出身で安倍さんの側近でもあったので憲法問題を控えてですね、稲田さんに色んな取りまとめ役を依頼しようということですね。」

駒田健吾「党役員人事でいきますと総務会長に加藤さん、選対委員長に甘利さん、そして憲法改正推進本部長に下村さんの名前が出ています。」

星浩「注目は加藤さんに総務会長として党内の意見の集約をしてもらって下村さん、安倍さんの側近ですから憲法議論を促進していこうということですけども全体としてやっぱりお友達内閣ではないかという批判は自民党内からもくすぶっていますね。」

このトピックに当てられた時間は 231 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・オスプレイ：結論→特に問題なし

在日アメリカ軍の輸送機オスプレイ 5 機がきょう東京の横田基地に正式に配備されたこと、周辺の自治体は夜間や低空での飛行や住宅地上空での空中給油など複雑な訓練を行わないよう要請していて小野寺防衛大臣はアメリカ軍側には安全面に最大限の配慮を求めると述べていることが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 26 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

・たばこ税引き上げ：結論→特に問題なし

8 年ぶりのたばこ税引き上げにともない JT 日本たばこ産業 3 社は紙巻きや加熱式などのタバコを一箱あたり 10～40 円値上げしたこと、これによりマルボロやセブンスターなどは 500 円の大台を突破したとのが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 23 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・沖縄県知事選挙

ナレーションでは「出口調査では無党派層の 69%、女性有権者の 63%が玉城デニー氏が投票。さらに玉城氏の勝利を祝う会場には与党の一角、公明党の支持母体、創価学会の旗が。出口調査でも公明党の支持層の票、32%が玉城氏に流れていました」とあったが、沖縄の有権者はなぜそうした投票行動をとったのか、吊い選挙だったからなのか、翁長県知事を選出した選挙では公明党は自主投票であったがそれが影響していたのか、様々な理由

は考えられると思うが、そうした点についての深掘りがなかったのが残念だった。

また、ナレーション、石破元幹事長、星キャスターが立て続けに「総力戦」という言葉で今回の県知事選挙を表現していたが、今回の沖縄県知事選挙の期間の少なくない部分が自民党の総裁選挙期間と重なっていて、テレビでも自民党総裁選の様子が連日報じられ、安倍・石破両陣営が総裁選に向けて精力的に選挙活動をしていたことは記憶に新しい。他の政党はともかくとして、自民党は総裁選モードになっており、沖縄県知事選挙については選挙期間を通じて総力戦を展開していたとは到底言えるようなものではなかったことは連日の報道からも明らかであったが、今回の選挙戦の結果について、あたかも自民党公明党が「総力戦を展開した」というのが事実であるかのように報じられていたことについては、印象操作に該当するであるとか放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」に反するであるとまでは明確に指摘をできないまでも、かなりの程度事実を歪めた報じ方であったように感じられた。

### ・ 政権与党人事

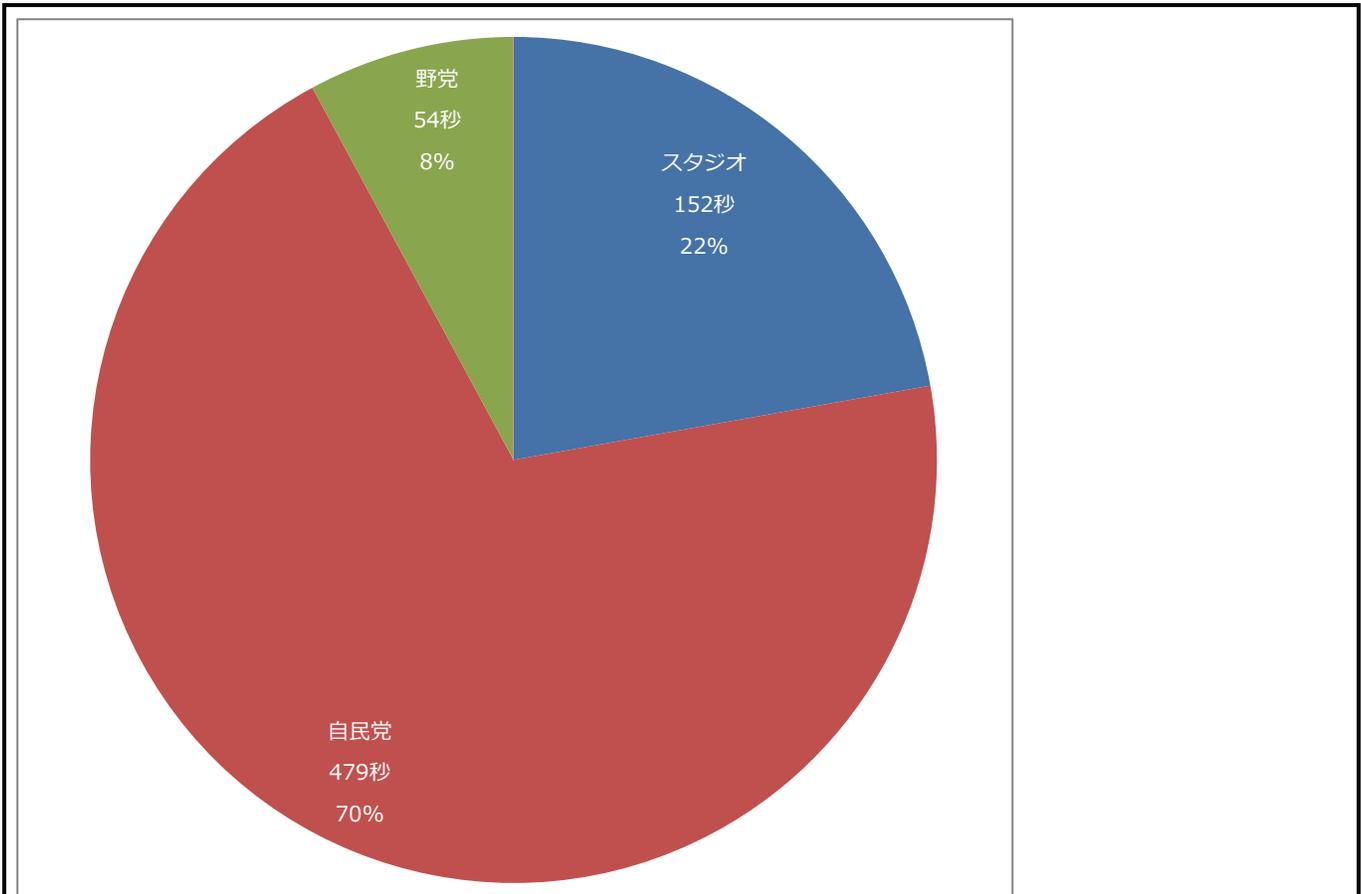
メディアが「入閣待機組」として念頭に置いている面々は必ずしも国民一般からの認知度があるわけでもないので、閣僚や党役員人事に内定した人物について掘り下げていたのは、国民に対して新しい閣僚や当役員がどうい人物なのかを伝えているという点で、評価できる試みであったと思う。

### ・ たばこ税

今回の報道ではたばこ税の引き上げに伴うタバコの値上がりが決まったことが淡々と報じられていたが、たばこ税引き上げはそもそもいつ決まったのか、たばこ税を引き上げるとい議論の時にメディアはどう報じていたのだろうか気になるところである。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月2日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙                  ゲスト：川合俊一（元バレーボール日本代表）</p>		
<p>検証テーマ：第四次安倍改造内閣、森友問題</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第四次安倍改造内閣</li> <li>・森友問題</li> <li>・ノーベル賞受賞の本庶氏</li> <li>・貴乃花部屋が消滅</li> <li>・東京歌舞伎町の雑居ビルから女性飛び降り通行人の男性に直撃</li> <li>・インドネシア地震の救助が難航</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> </ul> <p>第四次安倍改造内閣                  森友問題                  樋田容疑者が原爆ドーム周辺で野宿していたことが明らかに                  千葉県で人体の一部が相次ぎ見つかる                  ノーベル物理学賞にレーザー研究を行うアメリカ人3人が受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気予報</li> <li>・世界バレー</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第四次安倍改造内閣</li> </ul> <p>第四次安倍改造内閣について報じられた。このトピックはスタジオでの導入及びVTRを承けてのやり取り、自民党に焦点を当てた場面、野党の反応に焦点を当てた場面の3場面に大別された。このトピックに当てられた時間は685秒で、3場面への時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		



自民党について焦点が当てられた場面は以下に朱記した通りである。

安倍総理「政策を確実に実行できる人材、まさにいぶし銀の人材が自民党にはたくさんいます、いわば明日の時代を切り拓くための全員野球内閣であります。」

ナレ「初入閣は安倍内閣として最多の 12 人。一方で女性閣僚の起用は一人だけとなりました。今日発足した第四次安倍改造内閣。先の自民党総裁選で安倍総理と戦い処遇が注目された石破派からはただ一人、当選三回の山下貴司氏が法務大臣として抜擢されました。」

山下貴司新法相（石破派「正直申し上げて、私でよろしいんですか、と申し上げたのですが、命がけでがんばります。」

ナレ「官邸からの連絡で盛り上がるのは総裁選でいち早く安倍氏支持を表明した二階派です。三人が閣僚に起用されました。」

ナレ「その二階派から入閣した片山さつき氏。」

片山さつき「今日の 8 時 35 分です、総理から」

記者「どのような言葉で」

片山さつき「あ、片山さんね、片山さんには地方創生やっってもらうから。と。」

ナレ「取材中も多くの関係者から激励の連絡が入ります。」

片山さつき「先輩どうも、いやもう本当、あの先生のご指導のおかげですよ、本当に。」

ナレ「初当選から 13 年、はじめての入閣となった片山氏。東京大学法学部を卒業後、1982 年（平成 14 年）に大蔵省へ入

省、動機には森友学園問題で国税庁長官を辞任した佐川氏の他、セクハラ問題で辞任した福田前事務次官がいます。」

記者「二着あるのはどっちを着ようっていうのは」

片山さつき「決めてません、まだ。」

ナレ「晴れの舞台に何を着るか悩む片山氏」

片山さつき「皆さんどっちが？」

記者「周りは黒が多いですからね。」

片山さつき「皇居に何うからこっちのほうがいいですかね。」

ナレ「ところが、手元にある二着のドレスはいずれも七分袖。認証式は長袖が望ましいということで急遽買い物へ。」

記者「見つかりました、洋服？」

片山さつき「ありました。本当に普通の吊るしのフォーマルの、みなさんが卒業式とかで買われるような。」

ナレ「結局、片山氏が買ったのはこちらのドレス、卒業式で着るには少々派手かもしれません。」

ナレ「片山氏を起用した安倍総理はその理由について、」

安倍総理「フットワークが軽く、超人的なガッツの持ち主でもあります。」

ナレ「ただ、女性活躍を掲げながら女性の起用が一人だったことについて問われると。」

安倍総理「各国と比べて閣僚における女性の比率が少ないということについては認めざるを得ないわけでありませんが2人分3人分発信力を持ってですね、仕事をしていただける、と、こう期待しております。」

ナレ「一方、同じ二階派から入閣した桜田義孝氏、一昨年、従軍慰安婦についての発言が問題になりました。」

音声「職業としての娼婦ですよ、ビジネスですよ、それを犠牲者のような宣伝工作に惑わされすぎている。」

ナレ「即日発言は撤回されましたが与野党から厳しい批判にされされました。」

ナレ「そして、自民党の役員人事、党四役の一角、選挙対策委員長には甘利明氏が就任しました。甘利氏といえば。」

甘利明「安倍政権の足を引っ張る、という安倍内閣の一員としての閣僚甘利明にとっては誠に耐え難い事態であるのです。」

ナレ「一昨年、建設会社からの金銭授受問題をめぐり経済再生担当大臣を辞任しています。今日、その事を問われると。」

甘利明「あの事案、事件につきましては、私、秘書、とも刑事訴追されておられません。」

ナレ「そして、この人も返り咲きました。」

稲田朋美「防衛大臣としての職を辞することと致しました。」

ナレ「自衛隊の日報隠蔽問題などをめぐって防衛大臣を辞任した稲田朋美氏、新たに筆頭副幹事長に就任することになりました。」

ナレ「一方、その稲田市にポストを明け渡す形で筆頭副幹事長の座を去るのが」

小泉進次郎「私は石破さんに一票を投じましたけど。」

ナレ「先月の自民党総裁選で石破氏に一票を投じた小泉進次郎氏。」

ナレ「今回の人事では総裁選で安倍総理を支持したかどうかによって明暗が別れました。」

竹下亘（前総務会長）「日本を背負う、石破茂という男に。」

ナレ「安倍内閣で閣僚や党要職を歴任した竹下亘氏、今回、党三役の重要ポスト総務会長の職を解かれました。」

ナレ「さらに、その公認には自ら率いる竹下派の中から安倍総理の支持に回った加藤勝信氏が抜擢されたのです。」

ナレ「閣僚ではこの人も」

齋藤健前農水相「安倍応援団の一人に言われました。石破さんを応援するんだったら辞表を書いてからやれ。」

ナレ「前閣僚の中で唯一の石破派だった齋藤農水大臣は再任されず」

ナレ「後任には二階派から吉川氏が選ばれました。」

ナレ「組閣を終えた安倍総理がアピールしたのは、」

安倍総理「これは安倍内閣においては今後の最大のチャレンジと言ってもいいと思います。新たに全世代型社会保障改革担当大臣を設け、茂木大臣を任命しました。」

ナレ「社会保障制度の改革に取り組む決意を強調。また、憲法改正を巡っては次の国会での改正案提出に改めて意欲を示しました。」

安倍総理「更に議論を深めて作業を加速させていただきたいと思っています。まずは具体的な条文をしっかりとお示しをしていかなければですね。」

野党の反応に焦点を当てた場面では立憲民主党の福山哲郎幹事長の「責任とら内閣、森友学園や加計学園、セクハラ問題、麻生財務大臣他責任を取るべき方が全く責任をとっていない。」、国民民主党の玉木雄一郎代表の「麻生大臣も続投ということで、いわば政治は全く責任を取らないという一つの宣言だと思っております。」、共産党の小池晃書記局長の「まあちょっとびっくりですよ、麻生留任、全て理財局の一部職員がやったということですよ、やっぱり責任を全くとっていない、閉店セール内閣、終わりの始まり。」というコメントがそれぞれ取り上げられていた。

スタジオでは VTR を承けて以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「新しい内閣ですが 19 人のうち、実に 12 人がはじめての入閣ということですがなにか事情があるのでしょうか。」

星浩「安倍内閣はですね留任が多かったものですから、閣僚待機組がちょっと溜まってですね、いわばその待合室が満杯状態になってましてですね、今回総裁選挙があって安倍さんを応援してくれた各派閥からまあベテランを待合室から出て、就任してもらったというのが現状ですよ。そのため女性閣僚も一人になってしまった、ということですよ。」

雨宮塔子「それから VTR にもありましたけれど政治とカネの問題が指摘されてそれでも処遇されている議員が何人かいますよね。」

星浩「そうですね、VTR にあったように甘利さんは政治とカネを巡って閣僚を辞任していますし、下村さんについても政治とカネの問題が指摘されていますので、これから始まる臨時国会、それから来年の通常国会ではそういう問題非常に大きく野党側から追及されると思いますね。」

雨宮塔子「それから総理は確実に政策を実行できる人材がたくさんいると言っていますが、最長で三年の政権で総理は何をやりたいんでしょうか。」

星浩「私、実はそこに本質的な問題があると思っております、これを見ていただきたいとおもいますが、今日のこの改憲でも内閣の課題として社会保障、外交、憲法改正を上げているんですけどもまあ世の中の関心はで

すね、おそらくこの順番で社会保障、外交、憲法改正という順番だと思うんですけども、安倍総理の本音を調べて見るとですね、やはりこの逆に憲法改正、外交、社会保障という順番で関心が強いような見方があると思うんですね、このギャップをですね、どう埋めていくのか、これが私は今後の内閣の非常に大きな課題になっていると思いますね。」

今回は内閣改造ということで、かなり自民党に偏った時間配分となっていたが、トピックの性質上仕方のないことであり、これでもって直ちに放送法上問題であるとは言えないだろう。

・森友問題

スタジオで雨宮キャスターが「さて、その新しい内閣の門出を複雑な思いで見つめる人がいます。」というコメントし、それに駒田キャスターが「こちらの男性、息子は財務省近畿財務局の職員でしたが自らその命を絶ちました。息子が亡くなった半年前、それは財務省が公文書改ざんの疑惑に揺れていたときでした。」と応答した後に以下に朱記した VTR が流されていた。

父親「この木ですね、この小さい木。まあ思い出にはいつまでもおいておこうかな。」

ナレ「庭には息子が育てていた桜が植えていました。現在一人暮らしをしている 83 歳の男性、今年 4 月 54 歳の息子をなくしました。自ら命を絶ったのです。」

父親「なんでかな、なんでこんな事になったのかな。」

ナレ「息子が務めていたのは財務省近畿財務局。当時、森友学園の土地取引に関わってました。去年に月以降森友問題に関する公文書の改ざんを進めていた財務省。息子の男性職員はその改ざんを上司から指示されていたと見られます。財務省の報告書には男性職員について書いたとみられるこんな記述が。」

報告書「配下職員はそもそも改ざんを行うことへの強い抵抗感があったこともあり本省理財局からのたび重なる支持に強く反発。」

父親「性格的にね、なんか曲がったことが嫌いな、そういう面があったと思うんですよ、まあ上からの支持だから頭からはねつけるわけにはいかんでしょ。それを結局国したんじゃないかと思うんですよ。」

ナレ「男性職員は去年秋ごろから体調を崩して休職していました。」

自殺した男性職員（親族あての電話「毎月 100 時間の残業が何ヶ月も続いて大変、常識が壊れた。」

ナレ「そして、改ざん疑惑が持ち上がった直後の今年 3 月、自ら命を絶ったのです。財務省の報告書で改ざんの報告性を決定づけたと認定された当時の理財局長、佐川氏は国税庁長官に昇進していました。」

父親「当時、佐川さんはね、国税庁長官になったりして、なんでなるのかなとか思いましたけど。」

ナレ「男性職員が自殺した 2 日後、佐川氏は辞任しました。」

記者（VTR）「長官が指示された内容などがその要因になったとは考えてはいないのか？」

佐川（VTR）「大変恐縮ですがどなたがお亡くなりになったかも今日のニュースを見ただけなので、私ちょっと承知しておりませんので。」

ナレ「佐川氏が受けた処分は 5000 万円の退職金のうち 500 万円の減額、一方麻生財務大臣は辞任せず閣僚給与分 170 万円を自主返納しました。そして今日、麻生氏は留任が決まりました。」

父親「何事もなかったように幕引きになってしもうたんですけど、佐川さんの上の人くらいは責任とってほしかったんですけど。」

このVTRを承けてスタジオでは雨宮キャスターが「ほんとうに誰のための、なんのための改ざんだったのかというのは未だに解明されていませんから、お父様はすっきりしないと話されているようです。」とコメントし、星キャスターが「まず佐川さんですけれども財務省の報告書でも文書の改ざんを方向づけたと位置づけられているんですね、しかし。佐川さんは国会ではですね刑事訴追の恐れがあるからといって真相を一切語っていない、というのが一つ。それから麻生さんについてはですね、佐川さんのこの国税庁の長官人事を適材適所だと言ったままですよ、その後自分についてもまともな責任をとってはいない。ということですよ、その文書改ざんがあつて責任も有耶無耶ということでその犠牲になったその息子さんが犠牲になった親としては無念だと思いますね。やっぱりその政権がですね、そういう無念の思いに向き合っているのかどうか、そのへんは非常に疑問だと思いますね」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は301秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

#### 検証者所感

##### ・第四次安倍改造内閣

元経済財政担当大臣で政調会長の経験のある甘利明氏が幹事長・政調会長・総務会長と並ぶ党四役である選挙対策委員長に就任したことを「返り咲き」と評するのはその通りだと感じたが、大臣経験・党四役経験もなく当選回数も稲田朋美氏よりも一回少ない小泉進次郎氏の後任で党政調会長や防衛大臣を務めた稲田朋美氏が自民党筆頭副幹事長に就任することを「稲田氏の返り咲き」と評するのはどうしても違和感があった。二階幹事長・菅義偉官房長官という布陣のもとで筆頭副幹事長や内閣官房副長官の位置付けが今までとは変わってきたという可能性を感じさせた取り上げ方であった。

スタジオでの星キャスターの「安倍内閣はですね留任が多かったものですから、閣僚待機組がちょっと溜まってですね、いわばその待合室が満杯状態になってましてですね、今回総裁選挙があつて安倍さんを応援してくれた各派閥からまあベテランを待合室から出て、就任してもらったというのが現状ですよ。そのため女性閣僚も一人になってしまった、ということですよ。」というコメントは総裁選の期間、さんざん入閣待機組の期待を煽っておいて、こうした物言いはどうなのだろうか。

また、スタジオでの星キャスターの「今日のこの改憲でも内閣の課題として社会保障、外交、憲法改正を上げているんですけどもまあ世の中の関心はですね、おそらくこの順番で社会保障、外交、憲法改正という順番だと思ふんですけども、安倍総理の本音を調べて見るとですね、やはりこの逆に憲法改正、外交、社会保障という順番で関心が強いような見方があると思ふんですよ、このギャップをですね、どう埋めていくのか、これが私は今後の内閣の非常に大きな課題になっていると思いますね。」というあたかも択一であるかのような問題設定には疑問を感じた。社会保障をやりながら憲法や外交に取り組むというのは十分可能であるし、社会保障に取り組んでいるからというのは憲法の問題や外交の問題を疎かにしてもよいという理由にはならないだろう。

##### ・森友問題

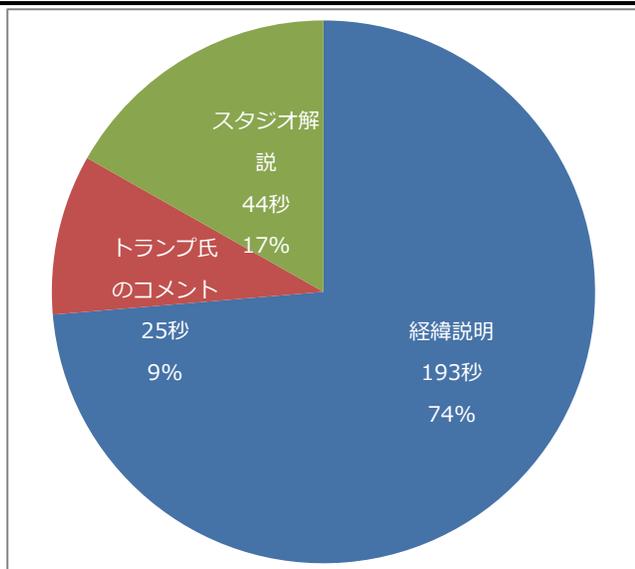
## NEWS23 週刊報告 詳細版

自殺した職員については気の毒だとは思いますが、この職員の「常識が壊れた」という発言が文書改ざんの問題と過度に結び付けられすぎているようなきらいが見受けられる。「常識が壊れた」という言葉の前に「毎月 100 時間の残業が続いて大変」という言葉があり、また休職していたという情報もあるが、確かに霞ヶ関の本省であれば毎月 100 時間残業が続くというのも考えられないこともないし「常識の範囲内」なのかもしれないが、地方の出先機関のノンキャリアで毎月 100 時間残業が続くというのは、明らかに非常識な残業時間と言えるだろう。

しかし、この問題でそもそも公務員の働き方や本省と出先はそれぞれどの程度の労働時間なのか、改ざん問題を端に発して地方局勤務にとっては思いがけぬ（さりとて本省では恒常的に行われるレベルの）激務による過労を苦しめたのではなかろうかなどという点は殆ど触れられておらず、改ざん問題を苦しめて自殺した、改ざん問題の犠牲になったというストーリーありきで報じられている点に違和感を覚えた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送： 2018年10月3日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
ゲスト：川合俊一（元バレーボール日本代表）		
検証テーマ：トランプ大統領、熊本市議会「あめ」問題、南北境界線で地雷撤去		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トランプ大統領</li> <li>・ 中国の人気女優が脱税</li> <li>・ インドネシア地震</li> <li>・ 熊本市議会「あめ」問題</li> <li>・ 首都圏各地で電線から火花</li> <li>・ スポーツ報道</li> <li>・ 23Today             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トランプ大統領</li> <li>・ 中国女優が脱税</li> <li>・ 南北境界線で地雷撤去</li> <li>・ 日大アメフト部反則選手チーム復帰</li> <li>・ ノーベル化学賞米英3人が受賞</li> </ul> </li> <li>・ 気象予報</li> <li>・ 世界バレー</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トランプ大統領→結論：放送法第四条の見地から問題なし。</li> </ul> <p>今回はトランプ大統領に新たなスキャンダルが発生したことが伝えられた。90年代に不正な税金対策に関わっていたとされ、他の疑惑と合わせて新たな火種が生まれたことが伝えられた。ホワイトハウスの報道官は「税務当局は何十年も前に申告を承認していてもう終わった話だ。」とコメントしたことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は262秒で、経緯説明、トランプ氏のコメント、スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



トランプ氏のコメントとスタジオ解説の内容は以下の通り。

ナレーター「トランプ大統領に新たな疑惑。トランプ大統領は 90 年代に疑わしい税金対策に関わっていた。ニューヨーク・タイムズが納税申告書や財務記録などを独自に調査した結果、トランプ氏が 90 年代に家族ぐるみの不適切な税金対策に関わり、現在の価値でおよそ 470 億円を得ていたと報じたのです。ニューヨークで不動産業を営んでいたトランプ氏の両親。トランプ氏は兄弟とともに両親から 10 億ドルの譲渡を受けます。当時、本来なら 55%を納税しなければなりません、およそ 5%しか納付しなかったというのです。トランプ氏は兄弟とダミー会社を設立。不正な税控除を受けられるよう父親に指南していたほか、両親の不動産資産の価値を実際より低く見せて納税額を大幅に減らしたといます。さらにアメリカ大統領は就任時に納税申告書を公開するのが通例ですが、トランプ氏は公開を拒んでいます。ニューヨーク・タイムズは 10 万ページ以上の書類を調査してきたのです。『1 代で億万長者になったと言ってきたが、父親からもらった資産だった。』この報道を受け、ホワイトハウスは。」

サンダース報道官「税務当局は何十年も前に申告を承認していてもう終わった話だ。」

ナレーター「そして、先程トランプ氏もこう反発しました。」

トランプ大統領「落ち目のニューヨーク・タイムズは前代未聞のことをしでかした。私に対する古くて退屈でありきたりな攻撃を展開している。」

ナレーター「大きな火種を抱えたトランプ氏。そうした中、大統領宛で不審な郵便物が届いていたことも分かりました。一部の米メディアは猛毒のリシンが含まれていたと報じています。一方、中間選挙を来月に控え、外交得点を上げたいトランプ氏。今月 7 日には北朝鮮の平壤でポンペオ国務長官と金正恩党委員長の会談が行われることとなりました。二回目の米朝首脳会談に向けた具体的な調整が焦点となります。」

雨宮「サンダース報道官は終わった話だと言っていますが、来月に中間選挙を控えていますし、政治的なダメージはありますよね。」

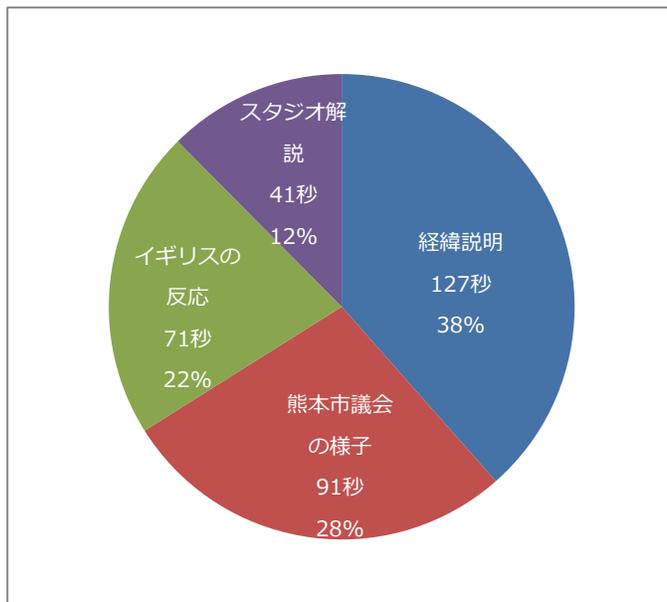
星「これだけニューヨーク・タイムズが本腰を入れていますからね。アメリカ国内でも相当波紋が広がっていると思います。大統領についてこれまで暴露本では資質があるのかということでしたけれども、脱税問題ですよ。アメリカの人たちは税金問題に非常に敏感ですので、これがどういうふうに影響していくのか。それから、

一方で外交、北朝鮮問題でトランプさんは成果を挙げなくちゃいけないということで、どんどん前のめりになるのか、関心を失うのか。そういう意味ではこれは外交にも影響を及ぼしてしまうという非常に厄介な事態ですよ。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・熊本市議会「あめ」問題→結論：放送法第四条第四項に違反する可能性がある。

今回は英のメディアが熊本市議会で起こった「のど飴」問題を取り上げていることが伝えられた。熊本市議会では質疑に臨むにあたってのど飴をなめていた議員に退場の処分が下されたことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は330秒で、経緯説明、熊本市議会の様子、イギリスの反応、スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。報道の時間配分は以下の通り。



熊本市議会の様子とイギリスの反応の内容は以下の通り。

「なにか口にくわえておられますか。」(議長)「のど飴をくわえております。」(緒方議員)「議場の中でそういうことはできませんから、皆さんに一回断ってください。」

ナレーター「先週の熊本市議会、緒方夕佳議員が質疑中にのど飴をなめていたとして議場が騒然となりました。」  
緒方議員「喉を痛めておりまして、皆さんにお聞き苦しくないように、咳が出ないようにのど飴をなめております。」(複数の野次)

ナレーター「質疑は一時中断され、緒方議員に対する懲罰特別委員会が開かれました。」

「謝罪を求めるべきとの意見が挙がっていますが、この点についていかががお考えでしょうか。」「風邪の症状がございまして、咳が出ないようにと思ひまして、喉の薬を口に含んでおりました。」

ナレーター「口にしたのはのど飴ではなく、薬だと主張する緒方議員。」

「謝罪をなさるか、なさらないか?」「謝罪をしなければいけない行為だとは考えておりません。」

ナレーター「緒方議員は謝罪を拒みましたが、結局、議会の品位を損ねたとして出席停止の懲戒処分となりました。」

議長「緒方夕佳議員の退場を求めます。」 ナレーター「これに対し、緒方議員は。」 緒方議員「納得いかないというよりは、議会の品位とは何だと思っていらっしゃるんだろう。」

ナレーター「緒方議員を巡っては、昨年生後七ヶ月の長男を連れて議場に入り、議事進行を遅らせたとして厳重注意を受けており、今回はその上での処分でした。一方、この問題を取り上げたのが、海外イギリスのメディアでした。『乳児連れ出席問題の議員が今度のはのど飴で退場させられた』イギリスからは今回の出来事から日本がこう見えたようです。『融通が利かないエチケットや規則、上下関係でがんじがらめにされた社会を浮き彫りにした。』今回の出来事について実際に市民に聞いてみると。」

イギリス市民①「全くもって馬鹿げている。日本が信じられないほど時代遅れに見えてしまう。」

イギリス市民②「去年メイ首相が政策スピーチ中にのど飴なめてたし、イギリスでは問題にならないよ。」

ナレーター「実はイギリスでこんな出来事がありました。党大会での演説中に突然咳が止まらなくなったイギリスのメイ首相。しきりに水を飲んでいたところ、演説を聞いていた財務大臣が差し出したのはのど飴。」

メイ首相「皆さん、財務相なのにタダで何か配っていますよ。」

ナレーター「こうしたお国柄のイギリスですが、緒方議員が謝罪を求められたことについては。」

イギリス市民③「僕らから見れば極端だ。世論が黙ってないでしょうね。」

イギリス市民②（再登場）「極めて日本的だね。休暇を取る時に申し訳ないとか、病気で会社に行けなくてすみませんとか。（日本人は）礼儀正しいしきちんとしている。でも、もうちょっと緩くてもいいんじゃない。」

報道の時間配分やコメントの内容に問題は見られなかったが、イギリスの反応が取り上げられた一方で当事者たる熊本の反応が取り上げられなかったことは問題があると感じられる。報道の冒頭にイギリスのメディアがこの問題を取り上げていることが伝えられた経緯があるので、イギリスの反応が伝えられることに疑問は感じないが、当事者たる熊本市民の意見が紹介されないままに日本の印象を報道することは不適切な行為であると結論付けられる。

今トピックは放送法第四条第四項（意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）に違反する可能性がある。

・南北境界線で地雷撤去→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は南北境界線で緊張緩和策として地雷撤去が始まったことが伝えられた。今回は経緯説明のみの内容で、トピックに当てられた報道時間は 22 秒であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

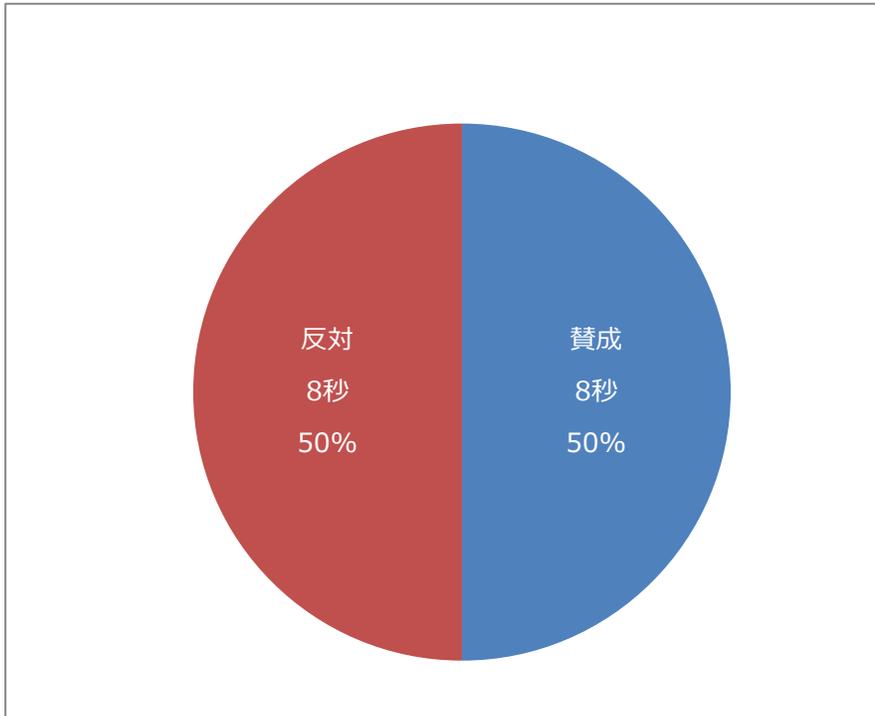
検証者所感  
特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 10月4日
出演者： 星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙 ゲスト： 川合俊一（元バレーボール日本代表）		
検証テーマ： 貴ノ岩提訴に元日馬富士の代理人が反論、米大統領緊急警報送信テスト、 加計理事長が2度目の会見、タジキスタンのラフモン大統領乗車の車両と随行車両が接触事故、 羽田空港新ルートに米軍が難色		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風 25 号直撃か</li> <li>・ 貴ノ岩提訴に元日馬富士の代理人が反論</li> <li>・ 樋田容疑者の逃走ルート判明</li> <li>・ トヨタとソフトバンクが自動運転サービスに共同出資</li> <li>・ 米大統領緊急警報送信テスト</li> <li>・ 加計理事長が2度目の会見</li> <li>・ ファン・ビンビンさん脱税問題</li> <li>・ スポーツ情報</li> <li>・ 23Today</li> <li>    台風 25 号直撃か</li> <li>    貴ノ岩提訴に元日馬富士の代理人が反論</li> <li>    タジキスタン大統領乗車の車両と随行車両が接触事故</li> <li>    羽田空港新ルートに米軍が難色</li> <li>    悪質タックル日大宮川選手が復帰</li> <li>・ 天気予報</li> <li>・ 世界バレー</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴ノ岩提訴に元日馬富士の代理人が反論→結論：放送法第四条の見地からは問題なし</li> </ul> 元日馬富士による貴ノ岩暴行事件で貴ノ岩が提訴、その一方で元貴乃花親方が元文科相の馳浩議員のもとを訪 問したことが報じられていた。同報道では  記者： 来年の参議院選挙はあるいは出馬の可能性もという話も・・・ 元貴乃花親方： いやもう全く・・・ 記者： 馳議員から打診は・・・？ 元貴乃花親方： ありません。  と参院選の出馬の可能性に関して記者と元貴乃花親方のやり取りが紹介されていた。なおこのトピックスの報道 時間は 36 秒で特に問題点は見られなかった。		

- ・米大統領緊急警報送信テスト→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

アメリカ全土で大災害など緊急事態に備えてのトランプ大統領による緊急警報メッセージの一斉送信テストが行われたことについての報道で、割り当てられた時間は 81 秒であった。この緊急警報メッセージについて肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ以下のような時間及び比率となった。



肯定的な意見としては市民からの「いい考えだと思うわ。今の時代危険がいっぱいだから。」との声が紹介されていた。否定的な意見としては同じく市民からの「プライバシーの侵害だしファシストのメッセージなんかいらぬわ。」との声が紹介された。賛否の時間配分は均衡しており放送法第四条の見地からは問題点は見当たらなかった。

- ・加計理事長が 2 度目の会見→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

加計学園の獣医学部新設をめぐる問題で加計孝太郎理事長が 10 月 7 日に再び会見を行うことになったことについての報道。再度の会見について愛媛県の中村時広知事は「税を活用するというで考えならば丁寧にやっぱり説明するっていうのが大事なことだと思いますので、開くという事に関しては評価をさせていただきたいと思います。」とコメントしていた。なおこのトピックスの報道時間は 124 秒で特に問題点は見られなかった。

- ・タジキスタン大統領乗車の車両と随行車両が接触事故→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

来日中のタジキスタンのラフモン大統領が乗車する車両が随行車両と接触事故を起こしたことについての報道。このトピックスは 18 秒報道され賛否が分かれる点や問題点は見当たらなかった。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

・羽田空港新ルートに米軍が難色→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

羽田空港の発着枠を拡大する新飛行ルートについてアメリカ側が難色を示していることについての報道。新ルートはアメリカ軍横田基地が管制権を持つ横田空域の一部を通過し管制も日本側が行う計画であった。このトピックスは 27 秒で放送法四條の見地からは問題点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックスの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月5日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙</p> <p>ゲスト：迫田さおり（世界バレー&amp;ロンドン五輪、元日本代表銅メダリスト）</p>		
<p>検証テーマ：ノーベル平和賞、麻生財務大臣と森友学園問題、国際観艦式と海上自衛隊 韓国李明博元大統領に実刑判決</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京成電鉄が運休、台風により吹き付けられた海水での塩害が原因か</li> <li>・台風 25 号が接近</li> <li>・ノーベル平和賞</li> <li>・麻生財務大臣と森友学園問題</li> <li>・スルガ銀行の不正融資問題</li> <li>・インドネシアの被災地</li> <li>・国際観艦式と海上自衛隊</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> <li>京成電鉄が運休</li> <li>ノーベル平和賞</li> <li>はれのひ元社長初公判</li> <li>沿線火災の影響で JR 東海道線・京浜東北線が一時運転見合わせ</li> <li>韓国李明博元大統領に実刑判決</li> <li>・天気予報</li> <li>・世界バレー</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーベル平和賞：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>ノルウェーのノーベル委員会は 2018 年のノーベル平和賞をコンゴ民主共和国の医師ドニ・ムクウェゲさんとクルド人少数派ヤジディ教徒でイスラム国による性暴力の実態を国連安保理など場で世界に告発したナディア・ムラド・バセ・タハさんに授与すると発表したことについて報じられた。</p> <p>ナディアさんについては、イラクの難民キャンプで取材したこともあるジャーナリストの横田徹さんの「農村に住む田舎の女の子でしたね、非常になんか素朴な感じでしたね。」「顔を出してメディアに出るといのは本当に勇気があると思いましたね、まだまだ捕まっている女性もいるでしょうし、性奴隷になった女性たちの傷は癒えていないと思うので、そういう彼女たちの力になるんじゃないかなと思いますね。」というコメントが取り上げられていた。</p> <p>ムクウェゲさんについては 2 年前に来日した際に NEWS23 でもインタビューを放送していたこと、「ムクウェゲさんの祖国、アフリカの今後では 20 年以上に渡り紛争が続いていて、実に 600 万人以上の住民が死亡しています。特に深刻なのが武装勢力によるレイプ被害、その犠牲者は 40 万人にも登ると言われています。産婦人科</p>		

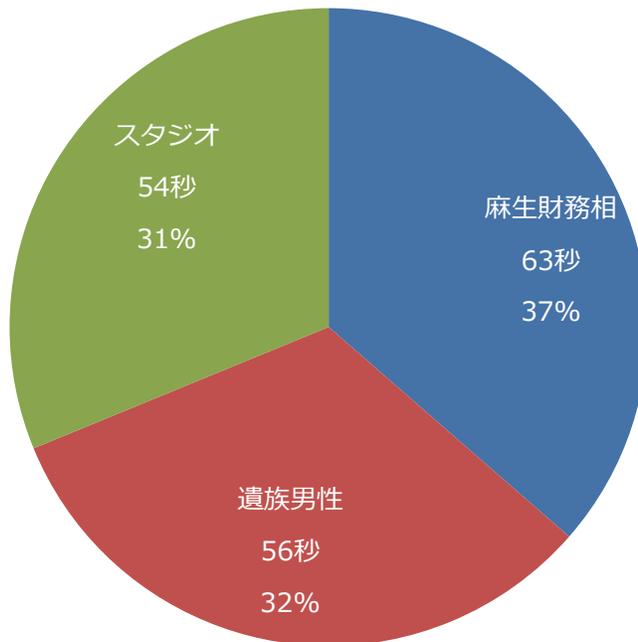
医のムクウェゲさんは長年レイプ被害を受けた女性たちの治療にあたってきました。」とナレーションで紹介されていた。

スタジオでは雨宮キャスターの「横田さんが素朴な女の子だったのに決意を感じたというナディアさんですが、ノーベル賞委員会はそのナディアさんの受賞理由をこのように上げているんですね。性暴力の被害者でありながら沈黙を拒否した。星さん、これは最近のミートゥー運動につながる問題提起のようにも思えますよね。」というコメントに対して、星キャスターが「そうですね、2人が活動するアフリカとか中東はなんか我々には縁遠い世界のように思うんですけども、レアメタルとかね、石油の争奪っていうのが紛争の背景にあるんですよ、そういう意味では我々とっても実は近いところにあって、そのムクウェゲさんが、同じ人類なら戦争犯罪を糾弾しましょう、とってましたけどまさに我々もそれに対して答えていく必要があると思いますね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は489秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・麻生財務大臣と森友学園問題：結論→問題あり

麻生財務大臣と森友学園問題について報じられた。このトピックに当てられた時間は173秒で、麻生財務大臣の佐川氏への評価に焦点を当てた場面、自殺した近畿財務局職員の父親へのインタビューの場面、スタジオでの場面という3つの場面に大別された。それぞれの場面への時間配分および比率は以下の通りであった。



麻生大臣については記者からの「今でもその国税庁長官に任命したことにに関して間違いはなかったと。」という問いに対して麻生太郎財務大臣が「はい、そう思っていますよ。」と答えるシーン、「森友学園の問題を巡って公文書を改ざんしていた財務省。改ざんを事実上支持していたと認定されていたのは当時理財局長だった佐川宣寿氏です。問題発覚前に佐川氏を国税庁長官に昇進させていた麻生財務大臣。今日、その判断を問われると。」とい

うナレーションを挟んで麻生財務大臣が「佐川という人物に関しまして、私どもとしては行政官として極めて有能な行政官だったと、いう評価は私どもはきちんとしています。」と答えるシーンが取り上げられていた。

自殺した近畿財務局職員の父親へのインタビューの場面では以下に朱記したシーンが取り上げられていた。

ナレ「改ざん問題では上司から改ざんを指示されたと見られる財務省近畿財務局の男性職員が今年3月自殺しています。その父親は今週私達の取材に応じ、胸の内をこう明かしました。」

父親「当時、佐川さんもね国税庁長官にあたりしてなんでなるのかなと思いましたけど。」

ナレ「また、男性職員の父親は麻生大臣が留任したことについても疑問を持っていました。」

父親「何事もなかったように幕引きになってしもうたんですけどね、佐川さんの上の人くらいはね、責任をとってほしかったんですけど。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「麻生大臣はなぜこれほどまで佐川さんを評価するのでしょうか。」

星浩「まあ麻生さんというのは部下をかばうのがいいボスだと思っているんですが、これはまあ内向きの論理でね、外の意識が見えてないっていうことだと思います。実際ですね、その財務省に聞いてみますとですね、佐川さん自身は調べるべき資料、読むべき資料をちゃんと読まないでね、強気の答弁をしていたということがわかってきているんですよね、麻生さんもしかしてその事実を知らないのか、もしかするとそれを知って隠しているのか、とすれば非常に重大なことだと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は173秒だった。星キャスターが「内向きの論理」ということに言及していたが、霞ヶ関の内向きの論理の一つとして早期退職に伴う天下りという慣行があげられる。霞ヶ関では課長級を過ぎたあたりから同期の人数に比べてポストが不足してくるので、ポストからあぶれた人が退職するという慣行があり、そうした中である種の「間引き」が行われ各省に数名分しかない次官級のポストの候補が絞られていき、佐川氏ら財務省の場合は財務事務次官、国税庁長官、財務官という3つのポスト候補へと絞られていくことになる（旧大蔵省採用という意味ではここに金融庁長官、金融国際審議官という金融庁次官級も加わる）。

そうした霞ヶ関の人事慣行を踏まえると、佐川氏の人事が適材適所だったかどうかという問題以上に、いまさら退職した元キャリア官僚を財務省本省や国税庁の次官級として呼び戻すということや、佐川氏の下の代から一名を抜擢するというのが難しいという事情もあるだろう。

これも「内向きの論理」といえばそれまでではあるが、霞ヶ関に根強い強固な論理であり、そうしたファクターについて全く触れずに霞ヶ関人事を問題視するというのは、取り上げ方としていささかアンフェアであり、また霞ヶ関人事を論ずる上で重大な要素を報じないというのは、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らしても問題であると言える。

#### ・国際観艦式と海上自衛隊：結論→特に問題なし

防衛省は11日に韓国で開催される国際観艦式について海上自衛隊の参加を見送ることを決めたこと、背景には自衛艦旗である旭日旗をめぐる対立があり、韓国側は参加する官邸に旗を掲げないように要請していたが、岩屋防衛大臣は国内法上義務付けられているなどとして受け入れなかったとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は27秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

・韓国李明博元大統領に実刑判決：結論→特に問題なし

収賄など 16 の罪に問われている韓国の李明博元大統領に対しソウル中央地裁は懲役 15 年罰金およそ 13 億円の判決を言い渡したこと、法廷の様子は生中継されましたが李被告は姿を見せなかったとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 22 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし